

平成 22 年度

事務事業の点検評価結果報告書

平成 23 年 8 月

山県市教育委員会

目 次

第 1 章 点検評価結果の概要

1	趣旨説明	1
2	点検評価の実施について	2
	＜ 評価について ＞	
3	点検評価結果について	
	(1) 点検評価結果全体の概要	2
	(2) 分野ごとの点検評価結果	3
	(3) 事業ごとの評価一覧表	4

第 2 章 各事務事業毎の点検評価シート

教育委員会の活動状況	7
重点目標 1（主要施策 1～ 4）	8
重点目標 2（主要施策 5～ 8）	1 3
重点目標 3（主要施策 9～1 1）	1 7
重点目標 4（主要施策 1 2～1 5）	2 1
重点目標 5（主要施策 1 6～1 9）	2 9
重点目標 6（主要施策 2 0～2 1）	3 3

第 3 章 外部有識者の意見

（ 参考資料 ）

・ 山県市教育委員会点検評価実施要綱	3 9
・ 山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱	4 1
・ 山県市教育委員会点検評価委員	4 4
・ 平成 2 2 年度 教育委員会議案等一覧	4 5

第 1 章 点検評価結果の概要

1 趣旨説明

山県市教育委員会では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条の規定に基づき、平成 22 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告を行うものです。

なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定されている教育委員会の職務権限は下記のとおりです。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

(教育委員会の職務権限)

第 23 条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第 30 条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び指定統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

(2) 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の実施について

教育委員会は、「山県市教育委員会点検・評価実施要綱」に基づき、平成22年度の教育委員会の事務事業等について、次の内容の点検・評価を実施しました。

(1) 教育委員会の活動状況等

教育委員会会議の実施状況、調査活動の実施等について

(2) 事務の管理及び執行の状況

「山県市の教育基本方針」に示す施策の執行状況及びその成果について

<評価について>

上記項目について、次の4区分により、その達成度の評価を行いました。

評 定	内 容
A	順調に達成しているもの
B	おおむね順調に達成しているもの
C	達成見込みであるが課題があるもの
D	順調でないもの

なお、地教行法第27条第2項に規定されている「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、「山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱」に基づき、評価委員会を設置し、評価結果に対する意見の聴取を行いました。

3 点検評価結果について

(1) 点検評価結果全体の概要

◇教育委員会の活動状況

①教育委員会会議の状況		順調に達成している	(A)
②調査活動の状況		順調に達成している	(A)

◇事務事業の執行状況（全46項目について評価）

A 順調に達成しているもの	36 / 46項目 (78%)
B おおむね順調に達成しているもの	10 / 46項目 (22%)
C 達成見込みであるが課題があるもの	0 / 46項目 (0%)
D 順調でないもの	0 / 46項目 (0%)

(2) 分野ごとの点検評価結果

平成22年度の重点施策別の点検評価結果は、下記のようにになりました。

重点目標1 (全9項目) 「学ぶ意味や喜びを 味わえる学習づくり」	A	順調に達成しているもの	9 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	0 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標2 (全9項目) 「児童生徒のよさを 生み出す環境づくり」	A	順調に達成しているもの	8 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	1 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標3 (全8項目) 「信頼に満ちた 安心・安全な学校づくり」	A	順調に達成しているもの	5 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	3 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標4 (全12項目) 「「学び」と「活用」の サイクルの確立」	A	順調に達成しているもの	9 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	3 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標5 (全6項目) 「ゆとりとうるおいを 実感できる文化芸術活動」	A	順調に達成しているもの	5 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	1 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標6 (全2項目) 「人間尊重の精神に あふれた人づくりの推進」	A	順調に達成しているもの	0 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	2 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目

(3) 事業ごとの評価一覧表

「山県市の教育振興計画」に示された「重点施策」「主要施策」「主要事業」に平成22年度の「実施事業」を結びつけて評価を行いました。それぞれの関係及び「実施事業」の評価は、以下のとおりとなります。

評価記号 「\」=21年度評価より下がる。 「↗」=21年度評価より上がる。

【重点目標1】学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	
主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進	評価
(1)『分かる授業・心にひびく教育』推進事業	A
(2) 学校管理訪問事業	A
(3) 教職員の広域人事交流・研修校派遣事業	A
主要施策2 ふるさとの伝統や地域性を生かした特色ある教育活動の充実	評価
(1) 学校提案型教育活動推進事業	A
(2) ふるさと大好き、わくわく体験事業	A
主要施策3 学校間連携事業の充実	評価
(1) 体力づくり・スポーツ振興事業	A
(2) 芸術・文化教育推進事業	A↗
主要施策4 教育センター機能の充実と改革	評価
(1) 「力のある教師」を育てる教職員研修推進事業	A
(2) 教育センター機能充実事業	A

【重点目標2】児童生徒のよさを生み出す環境づくり	
主要施策5 学校整備の推進	評価
(1) 小・中学校の耐震化事業	A
(2) 学校木質化推進事業	A
(3) エコ改修推進事業	A↗
主要施策6 学校適正規模化の推進	評価
(1) 学校適正規模の方針に基づいた統合推進事業	A
主要施策7 快適な学習環境整備の推進	評価
(1) バリアフリー化推進事業	A
(2) トイレ美化推進事業	A
(3) 冷暖房設備整備事業	A
主要施策8 読書活動の充実と情報教育の推進	評価
(1) 学習用ICT整備事業	B
(2) 楽しい図書館づくり推進事業	A

評価記号 「↓」=21年度評価より下がる。「↗」=21年度評価より上がる。「*」=22年度新規事業

【重点目標3】信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	
主要施策9 学校保健の充実と食育の推進	評価
(1) 学校保健「心と体の健康」推進事業	A
(2) 地産地消と食育推進事業	B
(3) 調理員研修充実事業	A
(4) 調理場整備推進事業	A
主要施策10 学校サポート体制の充実	評価
(1) 学校支援員等配置事業	B
(2) 『心の居場所』事業	B
主要施策11 緊急事態への態勢強化を推進	評価
(1) 携帯電話を活用した安心ネット事業	A
(2) 生徒指導連携強化事業	A

【重点目標4】「学び」と「活用」のサイクルの確立	
主要施策12 乳幼児期からの家庭教育の推進	評価
(1) 家族ぐるみの子育て実践事業（家庭教育学級・講座の開設）	A
(2) 「楽しい子育て」支援事業	A
主要施策13 青少年健全育成の推進	評価
(1) 青少年健全育成事業	B
(2) 成人式開催事業	A
(3) 学校支援地域本部事業	A
主要施策14 新たな生涯学習人口の増加と地域づくりの推進	評価
(1) 生涯学習関係団体育成・支援事業	A↗
(2) 地区公民館事業	B
(3) 交流センター管理・運用事業	B
主要施策15 生涯スポーツの振興	評価
(1) 体育施設指定管理事業	A
(2) 体育施設管理事業	A
(3) スポーツ関係団体育成・支援事業	A
(4) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	A
(5) 国体開催準備事業（22年度より市長部局へ事業移管）	—

※評価記号 「↓」=21年度評価より下がる。「↑」=21年度評価より上がる。

【重点目標5】「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	
主要施策 16 文化芸術活動基盤の充実と活動の推進	評価
(1) 文化の里花咲きホール活用事業	A
(2) 古田紹欽記念館展覧会等開設事業	A
主要施策 17 市民の読書活動の推進	評価
(1) 読み聞かせ教室の開催事業	A
(2) 図書の充実事業	A
主要施策 18 文化財や伝統芸能等の継承推進	評価
(1) 文化財保存事業	B
主要施策 19 国際理解教育の推進	評価
(1) 青少年の海外派遣事業	A

【重点目標6】人間尊重の精神にあふれた人づくりの推進	
主要施策 20 学校における人権教育の推進	評価
(1) 学校人権教育推進事業	B
主要施策 21 あらゆる場、あらゆる機会での人権教育の推進	評価
(1) 社会人権教育推進事業	B

* 評価 「↓」=21年度評価より下がる … 0項目

「↑」=21年度評価より上がる … 5項目

「―」=評価しなかった項目 …… 1項目

第2章 各事務事業毎の点検評価シート

様式第 1 号

教育委員会の活動状況

点検評価シート

山県市教育委員会

内容項目	実 績	成果・課題	評価
教育委員会会議の実施状況	○開催回数 定例会議 9 回 (H21 : 8 回) 臨時会議 0 回 (H21 : 1 回) ○審議件数 専決 3 件 (H21 : 5 件) 報告 3 件 (H21 : 2 件) 議案 19 件 (H21 : 39 件) ※審議案件の詳細については、4 5 ページ以降に掲載しています。	【成果】 ○議案の審議が厳正に行われた。また、会議終了後には、委員からの情報提供や事務局からの事業の進捗状況その他の報告に関し、委員と事務局との意見交換が活発に行われた。 移動教育委員会を 1 回開催 (H21 : 2 回) 【課題】 ●会議の毎月開催に努め、教育委員会の円滑な運営及び教育振興計画を推進するため政策会議を開催し、教育委員会の更なる活性化を図る。	A
調査活動の状況等	○視察調査 ・市内視察 小・中校学校訪問 小・中学校研究授業 教育センター実施事業の視察 図書館等文化ゾーン実施事業の視察 公民館学習発表会 教育施設の耐震等安全確認 他 ・市外視察 岐阜県教育委員会連合会研修会 (坂祝町) ・協議会 協議会 8 回 (H21 : 7 回) ・市長との意見交換会 1 回	【成果】 ○学校訪問等を行い、各学校の特色有る教育実践を視察するとともに、学校長等との意見交換により学校の現状把握をすることができた。 生涯学習施設での活動状況を視察し、文化振興の重要性を再認識することができた。 各種教育施設の耐震補強及び改修工事の進捗状況を視察し、施設の安全確認をすることができた。 【課題】 ●市民から信頼される教育行政の運営を目指し、各種団体と連携を密にし意見交換を積極的に行い、教育委員会の更なる活性化を図る。	A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進 ○教職員の授業力を高め、児童生徒に確かな学力を育てます。	(1)『分かる授業・心にひびく教育』推進事業 ・山県市立学校6つの共通実践 ・推進校指定、研修校指定による各種研究会の充実 ・就学指導委員会、相談会の充実と特別支援学校との連携による早期からの就学指導の充実 ・特別支援コーディネーターや教育相談員による研修と活用	学校教育課	22年度「基礎学力定着支援事業」推進校指定 ・3校(桜尾小・美山小・高富中)＝県指定学力定着事業を兼ね、市の学力向上プランを推進する。 22年度指定校公表会開催 ・2校(伊自良南小・いわ桜小)就学指導委員会 4回開催 就学相談会 2回開催 特別支援コーディネーター研修会 2回開催 教育相談員研修会 2回開催	≪成果≫ ○学力向上プラン推進運営委員会を発足し、推進校、教育研究会教科部、研究員会が連携して学力向上に向けた実践を行った。 ○保育園との連携を強化し、早期からの就学指導を強化できた。 ≪課題≫ ●普通学級に在籍する特別に支援を必要とする児童生徒に対しての個別指導を強化する。		A
		(2) 学校管理訪問事業 ・山県市立学校6つの共通実践の状況把握と推進 ・全教職員の授業等の参観、助言による授業力等の資質向上 ・子どもと向き合う時間を確保するための事務の効率化の推進 ・児童生徒の安全確保や教職員の服務規律の徹底	学校教育課	学校管理訪問 ・岐阜教育事務所と共同で第1回目の訪問 6校 ・市単独での第1回管理訪問 6校、第2回訪問 12校 ・のべ24校(各校2回) 校長会・教頭会を通して、「6つの実践」と学校のスリム化への取り組み強化を指導し、管理訪問においてその成果の見届けをした。	≪成果≫ ○学校管理訪問において「6つの実践」の趣旨とねらいを徹底し、その具現に向けて積極的に推進できた。 ○スリム化の意識が高まり、子どもと向き合う時間の確保に努めた。 ≪課題≫ ●授業の参観、指導助言により教職員の授業力の一層の向上を図る。		A

重点 施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進 ○教職員の授業力を高め、児童生徒に確かな学力を育てます。	(3) 教職員の広域人事交流・研修校派遣事業 ・市内経験10～15年を基準とした広域的な人事交流 ・中堅的立場の教職員の広域派遣、他市の指導力のある教職員の受け入れによる教育活動の活性化 ・市内研修校への計画的な人事派遣	学校 教育課	広域人事交流 ・岐阜市へ 1名 ・本巣市へ 1名 ・各務原市へ 2名 ・関市へ 1名 研修校への派遣 ・岐阜市研修校へ 2名 ・本巣市研修校へ 1名	≪成果≫ ○広域人事交流対象者は減少しているが、周辺他市研修校派遣が3名あり、計画的、継続的に派遣事業を進めることができた。 ○市外からの教職員を受け入れ、教職員の活性化を図ることができた。		A
				広域派遣受け入れ ・岐阜市より 2名 ・各務原市より 2名 ・関市より 3名 ・白川村より 1名 研修派遣受け入れ ・高富小へ 1名 ・高富中へ 1名	≪課題≫ ●職員全体の年齢層が高いことや広域人事交流を終えた職員が多いことから、今後の交流や派遣は難しい状況にある。市内経験10年を経過したら、積極的に、計画的に広域人事を進めていく。		

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実績	成果と課題	市民の要望等	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策2 ふるさとの伝統や地域性を活かした特色ある教育活動の充実 ○ふるさと山県に一体感や愛情・誇りがもてる児童生徒を育てます。	(1) 学校提案型教育活動推進事業 ・地域の伝統産業や自然、施設、人材を活用した「ふるさとに学ぶ提案型体験活動」の推進 ・地域や学校の伝統の上に立った「特色ある教育活動」の推進	学校教育課	学校提案型教育活動 全12校で実施 テーマ 環境、農業体験、伝統芸能等多岐にわたる実践で、地域人材の活用が推進された。 学校支援地域本部事業の活用により、地域人材の活用が図られ、地域と学校をつなぐことができた。	《成果》 ○学校や地域の特色を生かした実践が積み上げることができた。 ○学校支援地域本部事業と連携し、地域人材を積極的に活用する中で、より一層ふるさと山県に愛着がもてる活動となった。 《課題》 ●地域の文化、日本の伝統的な文化を学び、継承する機会の一層の充実を図る。		A
		(2) ふるさと大好き、わくわく体験事業 ・ふるさと教育の一環としての宿泊体験プログラムの開発 ・学校、地域、施設の連携による体験機会、指導者等の開拓	学校教育課	市内全小学校の5年生（伊自良南小・北小は4年生）が宿泊体験活動をグリーンプラザみやまのコテージにて実施した。 ＜主な活動＞ 登山、野外炊事、キャンドルサービス、化石学習、そば打ち、クラフト体験	《成果》 ○学校支援地域本部事業と連携して地域の指導者の確保ができた。 ○すべての児童が地域の自然や文化に触れながら、仲間と共にやり遂げる喜びを実感することができた。 《課題》 ●雨天時にも、川や森林など山県の自然に直接触れることが出来る活動内容を工夫していく。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策3 学校間連携事業の充実 ○全ての学校が参加し、体を鍛え、豊かな心をはぐくみます。	(1) 体力づくり・スポーツ振興事業 ・主体的な児童の体力向上を目指す市小学生陸上記録大会を開催 ・技能向上と他校との交流を図り健全なスポーツ精神を養う市中学校総合体育大会の開催	学校 教育課	・市内全小学校5年生・6年生を対象に実施 ≪ねらい≫ 記録向上への意欲を高め、体力や運動能力の向上と生涯にわたって親しむ態度を育てる。 ≪参加者数≫ 5年男子…47人 5年女子…35人 6年男子…50人 6年女子…46人 ・合 計…178人(31) ・参加率…30.0%	≪成果≫ ○各児童が意欲的に取り組むことができた。 ○大会に向けて各校で練習を行い記録向上への意識づけができた。 ≪課題≫ ●運動に苦手意識のある児童生徒も参加できる内容を工夫する。 ●体育等の授業と関連付けて、練習時間の確保をしていく。	時間的な余裕があるならばリレーなど種目を増やすことも検討してほしい。	A
		(2) 芸術・文化教育推進事業 ・市文化事業推進委員会（文学部、絵画部、書展部、音楽部）による推進体制 ・文集「やまびこ」の学習活動への活用 ・絵画・書写作品の展示方法の工夫による市民への紹介	学校 教育課	・各学校において、過去の文集「やまびこ」の作品を読む学習活動を位置付け児童生徒に作文指導を行った。 ・絵画部、書展部は教育センターを活用して展示会を行い、児童生徒だけでなく保護者や市民に紹介し啓発活動を行った。 ・花咲ホールにおいて市内全小学校4年生、中学校2年生が参加して音楽会を行った。	≪成果≫ ○展示期間を延ばし、休日も含まれていたため、家族そろって参観する家庭が増えた。 ○市内全小中学校が合唱を披露することで、お互いの学校の合唱の美しさや取り組みの素晴らしさを感じ取ることができた。 ≪課題≫ ●展示会の開場時間を夜間まで延長し、市民の参観を増やしていく。		A ↗

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策4 教育センター機能の充実と改革 ○各種事業推進のためのセンター機能を強化、効率化を図ります。	(1)「力のある教師」を育てる教職員研修推進事業 ・教職員の研修意欲やニーズを満たす研修講座の開設 ・教育実践の情報の教職員への提供 ・新しい教育センター組織・施設の検討	学校 教育課	・マイニーズ研修等を行うに当たり、前年度の講座への評価を生かした内容の講座を開設した。 ・研究成果や研究会の交流内容を刊行物にまとめ、発信した。 ・センター事業の運営を図る人材を確保した。	《成果》 ○教職員の資質向上を図る研修会を年間で35回、調査研究の委員会を14回開催した。参加人数も延べ2,300人となった。 ○各講座の中に、12年目までの若手教員の指導力向上についての内容を取り入れた。 《課題》 ●ニーズに対応できる研修講座の数と時間の確保をしていく。		A
		(2)教育センター機能充実事業 ・教育センターの施設移転の検討 ・児童生徒の優秀作品の保管と活用 ・教育相談教室コスモスによる「コスモス電話相談」の開設	学校 教育課	・閉校となった学校の施設利用を開始した。 ・野外学習の道具を県施設から譲り受け、備品として活用した。 ・保護者を対象に電話相談を開設した。 ・児童生徒の「夏休み作品展」最優秀作品を市役所3階ロビーや教育長室で展示した。	《成果》 ○機能を一元化することで学校教育を総合的に支援する機関としての充実を図った。 ○コスモスの開設時間を終日に延長することで、来室する児童生徒や電話相談に対してより手厚い支援をすることができた。 《課題》 ●施設や備品を整備したり、研修内容を一層充実させたりする。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	■主要施策5 学校整備の推進 ○だれもが安心して、だれにも快適な環境としての学校を創ります。	(1) 小・中学校の耐震化事業 ・耐震診断結果をもとにして、計画的に耐震化を進め、平成24年度末に100%をめざす。	学校 教育課	計画とおり実施できた。 ・富岡小学校 1棟完了(南校舎) ・いわ桜小学校 1棟完了(校舎) ・高富中学校 1棟完了(体育館 H21 繰越事業)	≪成果≫ ○児童生徒の安全が確保できた。 ≪課題≫ ●重要な課題であるため、遅れのないように計画的に取り組んでいく。		A
		(2) 学校木質化推進事業 ・耐震化工事や改修工事に合わせた木質化への取組	学校 教育課	計画とおり実施できた。 ・高富中学校体育館において県内産材内装木質化を取り入れることができた。	≪成果≫ ○体育館の壁面を木質化することで、ぬくもりのある温かな学習環境を整備することができた。 ≪課題≫ ●学校施設改修事業の計画時に地産地消を含め検討し進めていく。		A
		(3) エコ改修推進事業 ・エコ改修によるCO ₂ 削減や学校の電気料金節約の推進 ・エコ改修を活用した環境教育、エネルギー教育の推進 ・被災時の非常用電源としての活用	学校 教育課	計画とおり実施できた。 太陽光発電設備設置(H22 繰越事業) ・高富小学校 ・高富中学校 ・美山中学校	≪成果≫ ○太陽光発電設備設置工事が完了し環境教育の整備が図れた。 ≪課題≫ ●学校施設改修事業の計画時に検討し進めていく。		A ↗

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	■主要施策6 学校適正規模化の推進 ○地域の実情や動向を見つめ、学校の適正規模化を推進します。	（1）学校適正規模の方針に基づいた統合推進事業 ・複式学級が想定される小規模小学校の早期の見定め ・過小規模中学校の教育課程や人事措置をしたうえでの学校統合の必要性の判断	学校教育課	・「山県市小学校及び中学校適正規模推進計画」に基づいて、適正規模の見定めを行い、22年度の取り組みについて広報誌、HP等であく市民に周知した。 ・西武芸、富波、乾小学校の3校が統合し、4月1日より美山小学校としてスタートした。	《成果》 ○統合した美山小学校は、保護者、地域住民の理解と協力のもと、地域ぐるみの学校として順調かつ円滑に学校教育を推進していくことができた。 ○伊自良中学校については、他校の教員に兼務を発令し、全教科において専門免許を持つ教員が指導にあたるようになった。 《課題》 ●1学年15人を下回る小規模小学校については、今後の動向を注視していくとともに、地理的条件等を考慮して統合推進の検討を進めていく。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	■主要施策7 快適な学習環境整備の推進 ○全ての人に優しく、居心地のよい学習環境を整備します。	(1) バリアフリー化推進事業 ・ 段差解消、手すり設置等、障がい者に優しい施設環境の整備 ・ 全小・中学校への障がい者用トイレの設置	学校 教育課	計画とおり実施できた。 手摺設置 ・ 高富小学校(プール棟・外部) 段差解消、障がい者トイレ ・ 高富中学校(体育館)	≪成果≫ ○児童生徒や来校者に安全で安心な学習環境を整備することができた。 ≪課題≫ ●学校施設改修事業の計画時に検討し進めていく。		A
		(2) トイレ美化推進事業 ・ 計画的なトイレの乾式への改修 ・ 和式便器から洋式便器への移行 ・ トイレの清掃美化活動	学校 教育課	計画とおり実施できた。 トイレ 乾式化・洋式化 ・ 高富中学校(体育館)	≪成果≫ ○衛生的で気持ちのよいトイレ環境を整備することができた。 ≪課題≫ ●学校施設改修事業の計画時に検討し進めていく。		A
		(3) 冷暖房設備整備事業 ・ 全教室への扇風機の設置 ・ 老朽化した暖房機器の更新 ・ ランチルームへの空調設備の設置 ・ 空調設備の計画的な更新	学校 教育課	計画とおり実施できた。 教室扇風機設置 ・ 富岡小(8室)・桜尾小(1室) ・ 伊南小(2室)・伊中(3室) ・ いわ桜小(2室) ランチルーム空調機設置等 ・ 高富小・梅原小・桜尾小 ・ 大桑小・美山小・いわ桜小 ・ 富岡小(修理)	≪成果≫ ○快適な学習環境を整備することができた。 ≪課題≫ ●児童生徒数の動向を検討しながら計画的に取り組んでいく。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	■主要施策8 読書活動の充実と情報教育の推進 ○すべての児童生徒が読書に親しみ、快適に情報機器を活用できるようにします。	(1) 学習用ICT整備事業 ・電子黒板等、最新の視聴覚教材や教育機器の段階的、計画的整備 ・児童生徒3.6人に1台を目指す、パソコンの整備 ・児童生徒や教職員への情報モラル教育の徹底	学校 教育課	・前年度に全学校の校務用パソコン等を増設したことに伴い、教育委員会セキュリティポリシーの改正を行った。 ・電子黒板ユニット等電子機器を活用した授業例を各校が提案し交流会を行った。 ・各学校において、年数回情報モラル研修を行った。	≪成果≫ ○教師一人一人の情報モラルやリテラシーの意識を高めることができた。 ○映像等を活用することで、分かりやすい授業等教育活動が実現できた。 ≪課題≫ ●各校の教育用PCを新しくする必要がある。また児童生徒3.6人に1台を目指し整備していく。		B
		(2) 楽しい図書館づくり推進事業 ・全小・中学校への読書指導員の配置 ・読書指導員の実践的な研修会開催 ・学校図書館の修繕や設備の充実とボランティア募集による環境整備	学校 教育課	全小中学校に読書指導員を配置し、年3回の研修会を行った。(小規模校は、2校兼務) 1回目 美山中学校図書館視察 2日目 岐阜地区図書館サミット参加 3回目 各校の交流会	≪成果≫ ○図書館運営の交流会を行うことで、各校の図書館の掲示等が充実した。 ○読書指導員による積極的な働きかけで読書をする児童生徒が増加した。 ≪課題≫ ●保護者の読書に対する関心を高め、さらに児童生徒の読書率を上げる。	児童生徒の読書離れを少なくしてほしい。	A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	■主要施策9 学校保健の充実と食育の推進 ○健康な心身をはぐくむ学校保健・食育の充実に努めます。	(1) 学校保健「心と体の健康」推進事業 ・専門的立場からの助言を教育活動に活かす医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関との連携 ・学校の実情に応じた年間計画の策定による保健教育の充実	学校教育課	各学校及び山県市学校保健会が、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携を図り、次の事業を実施した。 ・各種健康診断 ・歯と口の健康づくり審査 ・学校環境衛生活動調査 ・岐阜県学校歯科保健研究大会（山県市大会）で歯と口の健康づくりの実践発表	《成果》 ○学校と学校医が連携を図り、児童生徒の健康づくりができた。 ○各学校が年間指導計画を基に、健康教育に取り組んだ。 ○岐阜県学校歯科保健研究大会で、山県市のフッ化物洗口等の実践を県内に発信できた。 《課題》 ●各学校の学校保健安全委員会に担当学校医全員の参加を求める。		A
		(2) 地産地消と食育推進事業 ・山県ふるさと食材を活かす献立の工夫 ・食育や地場産業の育成の観点を大切に食材の安定的な供給 ・欠食や孤食等の食生活の改善と家庭への啓発	学校教育課	各小中学校で地産地消を推進した。 ・食品数における地場産物使用割合 小中学校 平均 30.1 % 全ての学校の学校保健委員会や給食試食会等で、栄養教諭及び学校栄養職員を中心に食育講話を実施した。	《成果》 ○県の指針である地場産物使用割合 30%を季節によっては超えることができた。 《課題》 ●朝食欠食や孤食等の食生活の改善を家庭と一体となって推進する。		B

重点 施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	■主要施策9 学校保健の充実 と食育の推進 ○健康な心身をはぐくむ学校保健・食育の充実に努めます。	(3) 調理員研修充実事業 ・衛生管理の再確認と徹底 ・地域や日本の食文化を大切にし、おいしく、栄養価の高い新しい献立の開発	学校 教育課	・春夏2回「学校給食の衛生管理について」をテーマに全調理員対象に調理員研修会を行った。 ・調理実習では、山県市が取り組んでいる歯にいいメニューとして「豆腐飯・大豆入り松風焼き・かみかみ和え」を考えた。	≪成果≫ ○衛生管理意識をより一層高めた。また、調理実習で考えたメニューを実際に10月、11月の給食献立として提供した。 ≪課題≫ ●調理現場での衛生管理の徹底について、栄養教諭及び学校栄養職員を中心に再度確認する。		A
		(4) 調理場整備推進事業 ・安全性と効率性を大切にした調理場の整備 ・ドライシステム運用の徹底による安全管理	学校 教育課	・各学校とも衛生管理研究会等の折にドライシステム運用の再確認を行った。	≪成果≫ ○ドライシステム運用の必要性を理解し、安全管理に対する意識が高まった。 ≪課題≫ ●調理場機器の老朽化に対する検討をしていく。		A

重点 施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	■主要施策10 学校サポート体制の充実 ○全ての児童生徒が等しく安全に学べる教育環境を創ります。	(1) 学校支援員等配置事業 ・全ての学校に、学習支援員・教育サポーター等を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の学業等を支援 ・学習支援員等の研修会を企画し、情報交流や指導法交流を行い、支援機能の強化	学校 教育課	学習支援員 11名 教育相談員 3名 読書指導員 8名 教育サポーター 5名 ・学習指導に関わる支援員を各学校1～2名配置 ・高富中学校にALTを1名配置 ・読書指導員を全ての学校に配置	≪成果≫ ○学習支援や読書指導を行うための市費講師を全学校に配置し、児童生徒にきめ細かな指導を進めることができた。 ≪課題≫ ●研修会や交流会を通して、各支援員の指導力を高めるとともに、より効果的な活用をしていく。		B
		(2) 『心の居場所』事業 ・市内3校を重点校として教育相談員を配置し、連携体制を整備 ・生活相談の実践的な指導法の研修を日常的に実施し、情報の確実な把握	学校 教育課	・重点校（高富中・伊自良南小・美山中）に1～2名の教育相談員を配置 ・年12回の研修会の実施 <内容> ・指導法の講話 所長、次長、市教委 ・事例交流 ・情報交流	≪成果≫ ○事例交流を通して、様々なケースの対応方法を検討することで、家庭とのより緊密な連携を推進することができた。 ≪課題≫ ●22年度以降の教育センターの機能充実事業と連動し、教育相談の在り方を見直す必要がある。		B

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	■主要施策11 緊急事態への態勢強化を推進 ○安心・安全な学校をめざし、危機管理・安全教育を充実します。	(1) 携帯電話を活用した安心ネット事業 ・不審者情報の携帯電話・パソコンへの配信 ・配信元の学校単位機能による教職員や保護者への情報配信	学校教育課	・携帯電話メールを利用した安心ネットに全保護者の95%以上が登録し、不審者情報等や学校の行事連絡に利用している。 (95%以上の登録あり) ・PTA役員のグループ化を作成し会議等の連絡をした。 ≪使用頻度≫ ・教育委員会……16件 ・各学校……581件	≪成果≫ ○岐阜地区内の不審者情報を素早く周知できた。 ○学級の連絡網を用いた電話連絡に比べ、スピードや正確さが増した。 ≪課題≫ ●保護者の登録ミスをなくす工夫が必要である。 ●効果的な活用のため年度初めに各学校の担当職員に研修会を行う。		A
		(2) 生徒指導連携強化事業 ・中学校区別交流会の開催と自然体で情報交流や課題などの実践的な検討を行う「山県市生徒指導情報交流会」の設置 ・生徒指導連携強化委員会研修会の開催による最新の知識や指導法の研修充実 ・中高研究部会の開催による生徒の様子の交流を通して生徒指導の方向性の検討	学校教育課	<ねらい> 児童生徒の自己指導能力を高めるための連携の在り方 <構成員> 市内小中高等学校校長・PTA会長・PTA関係役員・生徒指導主事・青少年育成推進員・主任児童委員・民生児童委員会長 <活動> 総会、小中高研究部会、研修会を実施した。また、社会教育関係と学校との交流会の回数を増やし、情報の共有化を図った。	≪成果≫ ○各学校の情報交流をすることで、市内の生徒指導について共通理解することができた。 ○青少年育成推進員など地域の方々と情報交流を図る場を位置付けることができた。 ≪課題≫ ●家庭との連携をする場の位置付けを工夫する。 ●生徒指導主事の研修する場が必要である。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策12 乳幼児期からの家庭教育の推進 ○家族ぐるみの楽しい家庭教育のあり方を啓発します。	(1) 家族ぐるみの子育て実践事業 (家庭教育学級・講座の開設) ・全保育園、小・中学校において家庭教育学級を開設 ・年間計画を立て、計画的に実施 ・就学時健診の機会を活かした「子育て講座」を開設し、「家族ぐるみの楽しい子育て」を啓発	生涯学習課	・家庭教育学級 保育園…10園 (平均6.8回) - 小中学校…12校 (平均5.4回) ・就学時健診時の子育て講座 小学校…9校(各校1回)	《成果》 ○発達段階に応じた保護者の在り方を知るなどの学びの場を設定することができた。 ○保護者同士が子育ての悩み等を交流する場となり、互いのつながりを深めることができた。 ○食育に関する内容等、新しい講座を開設する学校が増えた。 《課題》 ●参加者を増やすための企画内容を工夫する。	参加に消極的な親に対して積極的な参加を促す必要がある。	A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策12 乳幼児期からの家庭教育の推進 ○家族ぐるみの楽しい家庭教育のあり方を啓発します。	(2)「楽しい子育て」支援事業 ・子育て支援の講座やイベント等を開催し、保護者の交流の場を提供 ・子育ての情報収集や悩み解消、孤立化を防ぐ世代間交流や地域住民との交流の場の設定 ・各種媒体を活用して、子育てに関わる情報を発信	生涯学習課	市子育て支援ネットワーク協議会事業 ・中学生との交流会 山県市の3中学校の生徒と乳幼児との交流を行った。 ・ちびっこ運動会、ちびっこ音楽会を開催した。	《成果》 ○乳幼児との交流を通して生徒一人一人が子育ての大変さ・親の大切さ、また、命の大切さを学ぶことができた。 《課題》 ●将来親となる子ども達に子育てにかかわる講座を開設する。 ●子育てにかかわる市内の方全員に、子育て等の情報を発信する方法を協議する。	乳幼児との交流を通して、親のありがたみを身にしみて感じた。また、自分や仲間間の命の大切さを考える機会となった。 (中学生の声)	A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策13 青少年健全育成の推進 ○地域と家庭・学校が一体となって青少年を育てる体制を整備します。	（1）青少年健全育成事業 ・各青少年団体へ各小・中学校の連携を強化し、地域主体の育成活動を推進 ・関係団体やボランティア団体と連携した地域の安全確保 ・地域と家庭・学校が一体となって児童生徒を育てる体制の強化	生涯学習課	市青少年育成市民会議にて主に次の事業を実施した。 ・総会 ・主張大会 ・中学生と市長と語る会 ・推進大会 ・街頭啓発 ・各小学校区青少年育成市民会議に補助金を交付し、地域の青少年健全育成活動をサポート	《成果》 ○青少年を取り巻く現状と課題について、関係機関と情報を共有し、連携を深めることができた。 ○育成者・指導者の資質を向上させることができた。 ○青少年と地域が、交流を通し相互理解を深めることができた。 《課題》 ●地域の青少年健全育成活動の充実度に差があるので、各地域の活動内容等の交流会等を行う。		B
		（2）成人式開催事業 ・成人式や実行委員会の活動の広報 ・実行委員を起用した記念式典企画 ・実行委員会による記念パーティ開催	生涯学習課	成人式実行委員の企画により美山中央公民館で開催した。 《主な内容》 ・記念式典 ・立食パーティ ・記念写真撮影 《参加者》 ・対象：市内在籍(外国人含) 369人 ・出席：290人 ・出席率：78.5% (前年度76%)	《成果》 ○大人としての自覚と責任を持つという意識を高めることができた。 ○実行委員の企画により、記念パーティが開催できた。 《課題》 ●実行委員を応募しても少ないので、広報活動に努める。		

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策13 青少年健全育成の推進 ○地域と家庭・学校が一体となって青少年を育てる体制を整備します。	(3) 学校支援地域本部事業 ・市学校支援地域本部実行委員会の開催 ・普及、広報活動の推進 ・学校コラボレーターの行う学習支援活動、部活動指導等各種支援活動を効果的、効率的に行えるよう計画・調整	生涯学習課	20年度から3年間、文部科学省の委託事業として実施した。 《ねらい》 ・学校と地域住民が連携・協働（コラボレート）することにより、学校教育の充実、地域の教育力の再生を考える。 《推進組織》 ・市学校支援地域本部実行委員会の設置 ・3中学校区毎に「地域コーディネーター」各1名を位置づけ ・3中学校区毎に「地域教育協議会」を設置 ・学校コラボレーター（ボランティア）募集 ・201名の登録者（見守り隊を除く） 《活動》 (1) 学習支援 ・教科部活動指導 ・授業行事の補助 ・郊外活動の引率 (2) 環境支援 ・除草作業 ・図書室整備 等	《成果》 ○学校支援地域本部を組織し、コーディネーター3名を中心に推進体制を確立できた。 ○学校コラボレーターに201名の登録があり、学校支援に成果を上げることができた。 ○年間419件、延べ1,569名が活動した。 《課題》 ●学校コラボの諸活動が地域社会の中で認知され、地域づくりに広げていく工夫をする。 ●学校において多様なコラボ活動が展開できるよう、学校経営・授業づくり等に一層の工夫をする。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策14 新たな生涯学習人口の増加と地域づくりの推進 ○だれもが自主的に学ぶ生涯学習のまちづくりのための環境を整備します。	（1）生涯学習関係団体育成・支援事業 ・自主的な運営や活動のための指導・助言 ・学習意欲を満たすことができる適切な指導者の紹介 ・団体と行政、他団体の連携のための助言	生涯学習課	・子ども会育成協議会の映画鑑賞会や、PTA連合会の研修会、発表会等の指導助言を行い事業が円滑に実施できた。 ・青少年市民会議とPTAとの合同研修会が開催できた。 ・県や地区組織等の上部組織へ積極的に参加し、連携、研鑽、親睦を図ることができた。	《成果》 ○子ども会、PTA等の活動を円滑に行うことができ、会の発展と会員相互の理解、親睦が図れた。研修を通じて自己研鑽ができた。上部組織との連携ができた。 《課題》 ●各団体の活動内容の積極的なPRを行うとともに、事業内容の見直しを図る。		A ↗
		（2）地区公民館活性化事業 ・ニーズに即した学級や講座の企画と自主的な運営のための支援 ・公民館職員の資質向上のための支援	生涯学習課	・地区公民館講座を開設し、文化と教養を高めた。 ・自主活動としてサークルが余暇を利用して活動した。学習発表会、地域づくりの盆踊り大会や、自然体験などを実施した。 ・職員資質向上と公民館相互理解のため各種研修会への参加と、館長、主事会及び代表館長会を開催し公民館運営の円滑化を図った。	《成果》 ○利用団体等が自己研鑽と仲間作りのため、余暇時間を活用した。また、学んだことを地域交流に役立て、地域リーダーとして活動した。 ○代表館長会を開催することにより公民館の運営が円滑に行えた。 《課題》 ●地域住民のニーズに即した講座、研修会の開催を検討する。 ●過疎、高齢化に対しての公民館の在り方を検討する。		B

重点 施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策14 新たな生涯学習人口の増加と地域づくりの推進 ○だれもが自主的に学ぶ生涯学習のまちづくりのための環境を整備します。	(3) 交流センター管理・運用事業 ・広報やホームページを活用して積極的な情報発信 ・施設の交流箇所の改善・修理	生涯学習課	・リピーターを中心に、市内外から多数の利用客が北山交流センターで宿泊し、研修と交流ができた。	《成果》 ○夏季を中心に宿泊客があり、研修と交流が行われた。 《課題》 ●外国人や冬季の宿泊客の利用促進のための手立てを工夫する。		B

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策15 生涯スポーツの振興 ○誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。	(1) 体育施設指定管理事業 高富地域社会体育施設について、TSCを指定管理者として委託 ・適切な管理・運営状況の把握と助言 ・施設の維持管理についてTSCと連携して整備 ・高富地域以外の社会体育施設と学校開放施設の指定管理検討	生涯学習課	・市総合体育館をはじめとする高富地域社会体育施設について、TSCを指定管理者とし、施設の維持、管理事業を委託した。	《成果》 ○指定管理者制度でサービス向上が図られ、利用者が増加した。 《課題》 ●23年度からの美山及び伊自良地域の委託管理料金を検討する。		A
		(2) 体育施設管理事業 ・社会体育施設や学校開放施設の利用促進とマナー向上 ・使いやすい環境を市民協働で推進する「体育施設清掃」の実施	生涯学習課	・社会体育施設及び学校開放施設の計画的な貸出ができた。 ・6月に利用者による社会体育施設清掃を実施した。	《成果》 ○社会体育施設の清掃を利用者自身が行うことにより、奉仕の精神を養うことができた。 《課題》 ●社会体育施設と学校開放施設の管理を、市と指定管理者それぞれで管理しているため、予約等に不便をきたす場合がある。市と指定管理者の連絡を密にするとともに、予約等について検討していく。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	■主要施策15 生涯スポーツの振興 ○誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。	(3) スポーツ関係団体育成・支援事業 ・市体育指導委員会を中心に展開する市スポーツイベントの企画運営 ・健康づくりの観点からの体育協会、体育振興会との連携事業を展開 ・市民のニーズに応じた環境整備と運動プログラムの実践	生涯学習課	・各地区体育振興会による市民運動会の開催 ・市主催による各種スポーツ大会の開催 グラウンドゴルフ大会 9月開催 地区代表34チーム ソフトバレー大会 12月開催 地区代表38チーム ・市民の地域行事等への参加を促し、健康・体力づくり、まちづくりに努めた。	≪成果≫ ○スポーツ人口の拡大と、健康の増進及び市民間のコミュニティー意識の高揚が図られた。 ≪課題≫ ●新たなスポーツ人口の掘り起こしを行う。		A
		(4) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業 ・小中学生対象「スクール事業」 ・他世代交流「スポーツ広場」 ・ニーズに即した事業 ・健康・競技志向、小・中、成年対象「スポーツ教室」 ・質を高める「指導者研修」	生涯学習課	・会員……………1,412名 ・登録指導者………120人 ・スクール事業 (小) 11種目613人登録 (中) 14種目573人登録 ・スポーツ広場事業 9種目352人登録 ・スポーツ教室事業 年3期39講座675人参加 ・スポーツイベント事業 年7回2,384人参加 ・種目別研修事業17名参加 ・指定管理事業H20～H22	≪成果≫ ○多様なニーズに対応した魅力ある事業を展開し、地域のスポーツ振興やコミュニティーづくりを推進した。 ≪課題≫ ●指導者の確保・養成及び市民のニーズに合った事業を展開していく。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実績	成果と課題	市民の要望等	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	■主要施策16 文化芸術活動基盤の充実と活動の推進 ○施設を最大限に活用し、市民のニーズに合わせた活動を推進します。	（1）文化の里花咲きホール活用推進事業 ・各種コンサート・公演による市民への芸術鑑賞機会の提供 ・小中学校や地域へアーティストを派遣するアウトリーチ事業の開催 ・ホールでのワークショップ事業による住民の芸術体験等の提供	生涯学習課	・音楽公演4回、演劇公演1回、寄席公演1回を行い、市民へ芸術鑑賞機会を提供した。 ・小中学校へのアウトリーチ事業を5回開催した。 ・市民参加の演劇公演や花咲きコンサートの稽古、練習、本番を通して芸術を体験する機会を提供した。	《成果》 ○アウトリーチ事業 市内の児童生徒に対し、質の高い芸術を身近で体感する機会を提供、豊かな人間性や感性を涵養することができた。 ○ホール公演 アウトリーチと連動した公演により、地域に密着した質の高いアーティスト公演を実施できた。 《課題》 ●全体集客数はもとより、幼児～大人まで幅広い年齢層の集客が必要である。		A
		（2）古田紹欽記念館展覧会等開設事業 ・定期的に展示替えをし、広報・ホームページでPR ・茶道ボランティアの協力のもと、茶会や講座の開催 ・地域文化、日本文化の情報発信	生涯学習課	・広報等で日本文化、地域文化をPRした。 ・日本文化の体感や館への集客を図るため、通常時の抹茶体験をはじめ茶道ボランティアの協力のもと、市民茶会（年2回）や講座を開催した。 ・館内展示を通して、古田氏の美しい心の世界をはじめ、幅広い交流関係や、地域の偉人を紹介した。	《成果》 ○展示、抹茶体験、市民茶会、講座等を通し、古田氏の美しい心、日本や地域の文化の素晴らしさを発信することができた。 《課題》 ●館の周知を積極的に図り、山県市の文化や偉人等を掘り起こし発信していく。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	■主要施策17 市民の読書活動の推進 ○子どもから大人まで、読書に親しむ環境を整備します。	(1) 読み聞かせ教室の開催事業 ・子どもたちが楽しく気軽に参加できるおはなし会の企画 ・図書館内の内装などにも配慮した本に親しめる環境づくり ・イベント、「子ども読書の日」、「子ども読書週間」等の広報活動	生涯学習課	・読み聞かせボランティアの協力のもとおはなし会を実施した。 (本館) 50回実施 延べ611人参加 (みやまジョイフル倶楽部) 24回実施 延べ274人参加 ・美術館の特別展開催期間に展示の原画の絵本や作者による読み聞かせを実施した。	≪成果≫ ○読み聞かせを通し、本の楽しさを体験させることができた。本に興味を持つ子どもが増えた。 ○絵本の原画にふれながら美術館で読み聞かせを行い、雰囲気を変えることによって楽しさを演出できた。		A
		(2) 図書の充実事業 ・購入できない資料は他館と連携した利用ニーズへの対応 ・読みたいような展示方法や館内表示等の工夫 ・利用者のニーズに応じた資料収集	生涯学習課	・購入できない資料は、他の図書館と連携し利用者ニーズに応じた資料収集を行うことができた。 ・新刊本の一覧を掲示し、分かりやすくした。 ・分室の高富中央公民館図書室に図書館システムを導入し、本館とのシステムの一元化を行い、利用者のサービス向上を図った。	≪成果≫ ○利用者の要求する資料を提供することができた。 ○利用者が新刊本を探しやすくなった。 ○利用者がWeb等から高富図書室の蔵書が分かるようになり、予約が可能となり利用しやすくなった。 ≪課題≫ ●図書館利用を更に促すための図書資料の選書をしていく。		A

重点 施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「ゆとり」と「うるおい」を 実感できる文化芸術活動	■主要施策18 文化財や伝統芸能等の継承推進 ○市民のかけがえのない財産を学び、次世代に継承します。	(1) 文化財保存事業 ・文化財保護の啓発 ・老朽箇所の修繕 ・諸問題解決の文化財保存会と連携 ・民俗資料の整理整頓、展示の工夫	生涯 学習課	≪補助金の交付≫ ・国重要文化財「白山神社拝殿」管理事業 ・市無形民俗文化財等の保存団体の保護継承活動 ・市天然記念物「県神社の棕の木」修復 ・市無形民俗文化財備品「獅子頭」修復 ≪国重要文化財「白山神社拝殿」修復の検討≫ ・拝殿の修復に向けた準備委員会の設置と検討を実施 ≪工事立会≫ ・周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業に対応し、工事立会1件を実施 ≪民俗資料の整理業務≫ ・歴史民俗資料館に保管されている民俗資料約2000点の整理	≪成果≫ ○文化財保護、保存団体の活動の活性化を促進し、地域文化の保護継承の一助となった。 ○平成23・24年度修復事業に向けた組織の確立と方針の決定ができた。 ○工事立会を実施し、文化財保護法に基づく適切な対応を行った。 ○民俗資料の管理を充実させ、後世に語り継ぐためのデータとした。一部展示替えを実施し、市民への周知を図った。 ≪課題≫ ●歴史民俗資料館の展示をさらに充実させる。		B

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	■主要施策19 国際理解教育の推進 ○多文化共生社会をめざし、国際感覚を磨きます。	(1) 青少年の海外派遣事業 アメリカフローレンス市との交流 ・日程の再検討や事業内容の見直しによる市民が参加できる制度検討 ・派遣と受け入れの隔年実施の検討 ・「ホストファミリーの会」研修企画	生涯学習課	・アメリカフローレンス市へ高校生等を派遣し、文化の交流と異文化へのふれあいを行った。 ・フローレンス市からの高校生たちの訪問があり、ホストファミリーの会が中心となり、ホームステイや文化の交流・体験を行った。 ・ホストファミリーの会の会員募集を行った。	《成果》 ○山県市とフローレンス市との交流と相互理解が図ることができた。 ○ホストファミリーの会員の相互親睦が図れた。 ○新規会員が増え、意欲が高まった。 《課題》 ●山県市でのホームステイの日程が長く、ホストファミリーの会員の負担が大きい。		A

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
人間尊重の精神にあふれた人づくりの推進	■主要施策20 学校における人権教育の推進 ○全教育活動を通し、人権尊重の精神がみなぎる学校をつくります。	(1) 学校人権教育推進事業 ・全教育活動で、道徳・人権問題を含めた「心にひびく教育」の推進 ・人権同和問題に関する研修や広報活動の充実 ・「ひびきあいの日」事業を実施し、学校・保護者・地域ぐるみの人権教育を推進	学校教育課	・中学校区ごとに人権同和研修会を実施した。 年間2～3回 ・高富中学校区で、県教育委員会指導による研修会を開催し、5小学校1中学校が道徳授業の公開を行った。 ・全学校が「ひびきあいの日」を実施し、地域、学校、家庭が一体となった人権教育の推進に努めた。	《成果》 ○各中学校区毎に、3年計画で道徳教育が推進されることで、道徳授業の向上を図り、児童生徒の道徳性を高めることができた。 ○授業公開を行ったり、各学校行事等の活動を地域に向かって発信したりすることで、地域と共に児童生徒の健全育成に努めることができた。 《課題》 ●地域住民と一体になった活動の充実を図る。	学校へ出かける機会を増やしたい。	B

重点施策	重点目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題			評価
				実 績	成果と課題	市民の要望等	
人間尊重の精神にあふれた人づくりの推進	■主要施策21 あらゆる場、あらゆる機会での人権教育の推進 ○学習機会を充実させ、人権学習を推進します。	(1) 社会人権教育推進事業 ・市社会人権教育推進協議会の開催による今日的課題に対応した人権教育の充実 ・公民館講座、講演会、家庭教育学級等の学習機会の拡大 ・隣保館での講座による地域住民の交流促進	生涯学習課	・子どもを含めた人権問題の解消、市民の人権感覚を涵養するために人権講演会の開催及び啓発に努めた。 ・PTA家庭教育学級講座の中に人権教育を位置づけ実施した。 ・美里会館での子どもの習字教室を開催した。 ・標語入り啓発物品を作成した。	《成果》 ○公民館講座、家庭教育学級、講演会など、学習の機会を広げることができ、市民の人権意識の高揚を図ることができた。 《課題》 ●著名な講師を呼び、広く市民に参加を呼び掛けているが、関係者の参加が大半であり、より多くの市民の参加が得られるようPR等を工夫する。		B

第3章 外部有識者の意見

今年度の山県市教育委員会点検評価委員会において示された意見は、次のとおりです。

これらの意見については、今後の教育行政に活かしていきます。

主要施策1（1）	「分かる授業・心にひびく教育」推進事業
- 公表会や授業参観から「分かる授業」が推進されていることを実感した。さらに、指導方法の工夫を図り、小中学校の義務教育の基礎基本を確実に習得させることに力点を置いて指導していく必要がある。 - 特別支援コーディネーターと連携を図るとともに、他機関と連携協力して支援を要する児童生徒の見極めをしっかりとっていく必要がある。	
主要施策2（1）	学校提案型教育活動推進事業
各学校で、地域の方に直接触れ合える機会を意識的、計画的に設けることが重要である。より効果や成果を上げるために人材リストを作成する必要がある。	
主要施策2（2）	ふるさと大好き、わくわく体験事業
各学校では、山県市の自然や歴史・文化を実際に学びとれるように創意工夫しながら体験事業が実施されている。今後も、「ふるさとに学ぶ提案型体験学習」の充実に努めてほしい。	
主要施策3（1）	体力づくり・スポーツ振興事業
幼児から中高生に至るまでの子どもの体力向上のために、さらに講演会やスポーツ記録測定等の実施など考慮していく必要がある。	
主要施策4（1）	「力のある教師」を育てる教職員研修推進事業
「力のある教師」を育てる教職員研修事業が多様に計画され、指導力のある教職員が育っている。 - 今日的な課題に即し、即実践力に結びつく中身の濃い研修事業を、教育センターをさらに活用して推進していく必要がある。	
主要施策6（1）	学校適正規模の方針に基づいた統合推進事業
統合した美山小学校が順調にスタートできたことは評価できる。小規模校があるが、地理的条件等をよく勘案するとともに、学校教育だけでなく地域づくりの一環として、市長部局など、他の機関等と連携して慎重にすすめていく必要がある。	

主要施策8（1）	学習用ＩＴＣ整備事業
・国が目標とする児童生徒3．6人に一台を早期に整備し、充実した教育になるようにしていく必要がある。 ・児童生徒に情報モラル教育をさらに徹底するとともに、保護者にも正しい情報や安全な取り扱いを啓発していく必要がある。	

主要施策8（2）	楽しい図書館づくり推進事業
・読み聞かせなどにより、読書に親しむ心や新しい情報を得ようとする態度を育成しようとする方向は素晴らしい。さらに、学校をはじめとする図書館の充実に努めてほしい。	

主要施策9（2）	地産地消と食育推進事業
・各小中学校において、地産地消を推進していることは大変評価できる。今後も、山県市の野菜を取り入れるように努めてほしい。 ・食の安全に関しては、迅速な対応をお願いしたい。	

主要施策10（1）	学校支援員等配置事業
・学校の実態に即して、各学校に支援員が配置されている。県内に誇れる施策であり、学習・生活両面に効果が期待でき、今後も継続をお願いしたい。 ・支援を必要とする児童生徒一人一人の実態に即した学習支援や生活支援ができるように、さらに学習支援員等を増員するとともに、一層の資質向上を図る必要がある。	

主要施策11（1）	携帯電話を活用した安心ネット事業
・全保護者の95％以上の登録は評価できる。不審者情報等は山県市周辺の情報も含めて、今後も、迅速に配信してほしい。 ・保護者だけでなく、自治会長、青少年育成推進員など地域住民への拡大についても研究・検討をしてほしい。	

主要施策11（2）	生徒指導連携強化事業
・学校間や校種間の連携を図り、一人一人の子ども達を大切に指導が進められている。子どもたちがさらに成長するように、保幼小中高の連携を強化していく必要がある。	

主要施策 12(1)	家族ぐるみの子育て実践事業
・親教育に力点を置いた研修内容にするとともに、入園前の親子などを園に招き、保育士との交流も取り入れていくとよい。	

主要施策 13(1)	青少年の健全育成事業
・青少年市民会議は、各支部が主体的に活動を進めており、一定の効果が上がっている。今後は大人が企画した行事から、青少年が企画実施する活動を期待する。	

主要施策 14(2)	地区公民館活性化事業
・過疎化高齢化の進む中、30～50代が積極的に利用できる講座も考慮していく必要がある。また、各館の受講者を全市から募ることも考えてほしい。 ・地区公民館の活性化を図るために、公民館運営委員が最も大事にしていることなどを出し合いながら、今後の公民館の在り方、時には、条例改定を含め、市長部局と共に協議し、具体的施策を実施していくことを期待する。	

主要施策 14(3)	交流センター管理・運用事業
・夏季は天体観測や植物観察などの理科学習や、冬季は山スキーなど地域の特性を生かした運用を検討し、市外への活用を募ることを考えていきたい。	

主要施策 15(2)	体育館施設管理事業
・高富体育館は多くの市民の利用があるが、建築後45年を経過し、耐震診断の結果では補強を要する施設であるため、今後耐震補強工事または代替え施設での利用を検討する必要がある。 ・大桜グラウンド・梅原グラウンド及び美山地域のグラウンドの夜間の利用者が少なく、電気料金（基本料金）の支払いが高い状況である。今後、利用者の増加対策又は冬期の閉鎖等を検討する必要がある。	

主要施策 17(1)	読み聞かせ教室の開催事業
・山県市の図書館でのおはなし会は、子ども達も楽しく参加でき、とてもよかった。おはなし会を知らない人も多いと思うため、広報活動をしていく必要がある。 ・地域の方々による読み聞かせに加えて、各地域で高校生や中学生などが、幼児や小学生に読み聞かせをする機会を設けるなど実施方法を工夫していくとよい。	

主要施策 17(2)	図書の実業
・ 22年度より、市内の図書館が相互にインターネットで結ばれるとともに、県の図書館にもネットにつながり、読みたい本がすぐに入手できるようになった。こうした利便さを、広報等を通してより広く市民に啓発していく必要がある。	

主要施策 18(1)	文化財保存事業
・ よりよい文化財展示の実業のために、今後、民俗文化財の整理を進めるとともに、市民への啓発に努めてほしい。	

主要施策 20(1)	学校人権教育推進事業
・ 美山地区で行われている小中学校の実践交流や保護者・地域の方々への「道徳だより」発行等を全市に広げ、さらに人権教育を推進してほしい。	

参考資料

- ・ 山県市教育委員会点検評価実施要綱
- ・ 山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱
- ・ 山県市教育委員会点検評価委員
- ・ 平成 22 年度 教育委員会議案等一覧

○山県市教育委員会点検評価実施要綱

平成 21 年 2 月 27 日
教育委員会告示第 7 号

(目的)

第 1 条 この要綱は、山県市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことで、山県市教育行政の推進体制を一層充実させ、教育水準の向上を図り、もって市民の期待に応えるために必要な事項を定めることを目的とする。

(点検評価の実施及び体制)

第 2 条 教育委員会は、前年度の教育委員会の取組みについて、点検評価を行う。

- 2 教育委員会は、前項の点検評価を適正なものとするため、外部の学識経験者によって構成する山県市教育委員会評価委員会(以下「評価委員会」という。)の意見を聴かなければならない。

(評価事項)

第 3 条 教育委員会は、前年度の取組みについて、次の各号に掲げる内容の点検評価を実施する。

- (1) 教育委員会の活動状況 教育委員会会議の実施状況 調査活動の状況等
- (2) 事務事業の執行状況 山県市教育振興基本計画に掲げる主要施策の施行状況及びその成果
- (3) 前年度の点検評価結果への対応状況 前年度の点検評価結果において次項による達成度の評価が C 又は D とされた事務事業に対する対応の状況

- 2 前項の点検評価においては、次の 4 区分により達成度の評価を行う。

- A 順調に達成しているもの
- B おおむね順調に達成しているもの
- C 達成見込みであるが課題があるもの
- D 順調でないもの

(点検評価の手順)

第 4 条 点検評価を実施するに当たっては、事務局各課がその所管する事務事業等について第一次評価を行う。

- 2 教育委員会は、第一次評価の結果を基に、[第 2 条第 2 項](#)に規定する評価委員会の意見を聴いたうえで、教育委員会会議において最終評価を行う。
- 3 教育委員会は、前項の評価結果を報告書にまとめ、議会に提出する。

- 4 教育委員会は、前項の報告書を教育委員会のホームページに掲載するか、広報等を利用し市民に公表する。

(庶務)

第5条 点検評価の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、この要綱を実施するために必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

○山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱

平成 21 年 2 月 27 日
教育委員会告示第 8 号

(設置)

第 1 条 山県市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うに当たり、透明性及び客観性を確保するため、山県市教育委員会点検評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 評価委員会は、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、外部の視点から評価を行い、教育委員会に評価結果を報告する。

- 2 [山県市教育委員会点検評価実施要綱第 3 条第 1 項](#)各号に定める点検評価は、それぞれ[様式第 1 号](#)～[第 3 号](#)により行う。

(組織)

第 3 条 評価委員会は、委員 10 人以内をもって組織する。

- 2 委員は、次に掲げるもののうちから教育委員会が委嘱する。
- (1) 教育学その他教育行政に関する専門知識を有する者
 - (2) 学校関係者
 - (3) 保護者
 - (4) 民間における企業体、団体等の関係者
 - (5) その他教育長が適当と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第 5 条 評価委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。
- 4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 評価委員会は、委員長が招集し、その会議の議長を務める。

- 2 評価委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

- 3 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が評価委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

様式第1号 (第2条関係)

教育委員会の活動状況

点検評価シート

山県市教育委員会

内容項目	実績	成果・課題	評価
教育委員会会議 の実施状況	○開催回数	【成果】	
	○審議件数	【課題】	
調査活動の状況 等	○視察調査 ・市内視察	【成果】	
	・市外視察	【課題】	

様式第 2 号 (第 2 条 関係)

事務事業の執行状況

点検評価シート

山県市教育委員会

重点 施策	重点 目標	年度 の目標	担当 課	年度の実績・成果と課題			評価
				実績	成果・課題	市民の 要望	

様式第 3 号 (第 2 条 関係)

前年度点検評価結果への対応状況

点検評価シート

山県市教育委員会

年度の実施した点検評価 において課題とされた事項	前 年度 の 評 価	課題に対する 年度の 取り組み状況		
		実績	成果・課題	評価
課題 ○				

山県市教育委員会点検評価委員会委員

平成23年度

委員長 岩田 恵司（岐阜大学名誉教授）

副委員長 丹羽 英之（市自治会連合会長）

委員 石神 真（市議会総務文教委員長）

委員 西村 覺良（市社会教育委員会代表）

委員 岡田 治雄（市体育協会会長）

委員 若井 紀宏（市PTA連合会代表）

委員 藤木 節子（山県高等学校長）

委員 富松 省三（小中学校長会長）

委員 河野 隆（はなぞの北幼稚園長）

委員 江川 厚子（市保育園長代表（伊自良保育園））

教育委員会審議議案一覧

○ 委員長専決議案

議案番号	議 案 名	提 出 委員会	決 裁 日
			議 決 日
承 第 1 号	山県市公民館職員の任命について（桜尾公民館）	第 2 回	4月30日
			5月15日
承 第 2 号	山県市公民館職員の任命について（大桑公民館）	第 5 回	9月13日
			11月22日
承 第 3 号	山県市公民館職員の任命について（大桑公民館）	第 7 回	1月14日
			2月17日

○ 報告議案

議案番号	議 案 名	提 出 委員会	議 決 日
報 第 1 号	平成 2 1 年度山県市教育委員会の主要な施策の成果説明について	第 4 回	8月27日
報 第 2 号	平成 2 1 年度山県市教育委員会の事務事業点検評価結果について	第 4 回	8月27日
報 第 3 号	山県市児童生徒学習状況調査実施要領及び山県市児童生徒学習状況調査の結果の取扱いについて	第 9 回	3月24日

○ 議案

議案番号	議 案 名	提 出 委員会	議 決 日
議第1号	平成 2 2 年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の設置について	第 1 回	4月14日
議第2号	山県市教育委員会委員長の選挙について	第 2 回	5月15日
議第3号	山県市教育委員会委員長職務代理者の指定について	第 2 回	5月15日
議第4号	山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	第 2 回	5月15日

○ 議案

議案番号	議 案 名	提 出 委員会	議 決 日
議第5号	平成23年度使用小・中学校用教科用図書の採択について	第3回	7月23日
議第6号	平成22年度一般会計（教育委員会）補正予算（第4号）について	第4回	8月27日
議第7号	平成22年度一般会計（教育委員会）補正予算（第7号）について	第5回	11月22日
議第8号	山県市体育施設の指定管理者の指定について	第5回	11月22日
議第9号	平成22年度一般会計（教育委員会）補正予算（第8号）について	第6回	1月13日
議第10号	平成23年度教職員人事異動方針について	第6回	1月13日
議第11号	山県市文化財保護事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	第7回	2月17日
議第12号	平成22年度一般会計（教育委員会）補正予算（第10号）について	第7回	2月17日
議第13号	平成23年度一般会計（教育委員会）予算について	第7回	2月17日
議第14号	平成22年度山県市教育委員会表彰被表彰者の決定について	第7回	2月17日
議第15号	山県市図書館利用規程の一部を改正する規程について	第8回	3月10日
議第16号	平成23年度教職員人事について	第8回	3月10日
議第17号	平成23年度山県市教育委員会事務局職員及び教育機関の職員の任免について	第9回	3月24日
議第18号	山県市教育センター次長の任命について	第9回	3月24日
議第19号	山県市地区公民館職員の任命について	第9回	3月24日

○ 教育委員協議会

協 議 事 項	開	催 日
平成２２年度小・中学校校長との意見交換会	第１回	４月２日
美山小学校開校式	第２回	４月７日
美山小学校評議委員、ＰＴＡ役員及び教職員との意見交換会	第２回	４月７日
山県市立小学校及び中学校適正規模推進計画に基づく適正規模の見極めについて	第３回	５月１５日
美山小学校校長と対談及び視察	第４回	７月８日
平成２２年度小中学校アウトリーチ事業視察	第４回	７月８日
平成２３年度使用小・中学校用教科用図書採択の協議について	第５回	７月２３日
教育センター事業について次長と対談及び視察	第５回	７月２３日
「岐阜県市町村教育委員会連合会表彰」伝達式	第６回	１１月２２日
平成２２年度教育施設各種工事の進捗状況について	第７回	１月１３日
山県市立小中学校における全国学力学習状況調査の結果の取扱いについて	第８回	３月１０日
緊急総合経済対策「地域活性化交付金」の教育委員会対応事業について	第８回	３月１０日
高富中央公民館視察	第８回	３月１０日